



沖縄県立那覇みらい支援学校

学校だより

令和5年 12 月 28日第2号

〒900-0024

那覇市古波蔵 4 丁目 10 番 17 号

電話 (098)855-7831

FAX (098)855-7832

校長 新垣 ゆかり



2 学期を振り返り

9 月 1 日から始まった 2 学期。今学期は、学年の中で一番長い学期で、登校日数 79 日。そんな中、学校行事や対外的な行事の参加もあり、児童生徒一人一人がそれぞれのペースで参加していました。2 学期も御協力ありがとうございました。

取組んだ行事をかき出してみました。

9 月 高等部 豊見城高校へ出向き、交流及び共同学習

南風原高校郷土芸能部との交流及び共同学習

中学部 校内実習 (3 学年縦割りでの職業生活に向けての実習)

小学部 宿泊学習 (ユインチホテル南城)

10 月 高等部 後期現場実習

小禄高校ダンス部との交流及び共同学習

中学部 関西方面修学旅行

小学部 修学旅行

那覇高校インターアクト部の読み聞かせ会

全学部 Halloween 英語で話そう

11 月 照屋副知事 来校

第 1 回 体育祭

中学部・高等部 特別支援学校体育大会

高等部 関東方面修学旅行

12 月 富国生命 ふれあいコンサート

セイコーエプソン ゆめ水族園

高等部 みらいカフェ 人道橋を開けてプレオープン

中学部 開邦高校音楽科との交流及び共同学習



自作衣装で参加シマシタ



今年度から全ての県立高等学校は特別支援学校との交流及び共同学習を行うこととなり、そのうち 4 校が本校の児童生徒と交流及び共同学習を実施しました。交流及び共同学習は「障害のある子供と障害のない子供、あるいは地域の障害のある人とが触れ合い、共に活動する」中で障害のある子供にとっても、障害のない子供にとっても、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会となることをめざして実施しています。その様子を見ていて感じたことは、本校の児童生徒にとっても、ともに学習活動を行うこと

で、学習参加や笑顔、やり取りも増え、普段見せる様子と違っていました。一緒に活動することがまず障害を理解する、共生社会の形成に向けての第一歩だと実感しました。小中高校から来た児童生徒の最初の不安そうな顔も、交流学習終了後には満面の笑顔となって帰っていく姿をみると、私まで見ていてうれしくなるほどでした。

すばらしかった 第1回体育祭

11月12日(日)に本校第1回目の体育祭が開催されました。テーマは、みんなヒーロー 新たな伝統 輝け!みらい!」でした。児童生徒会を中心に素晴らしいテーマを考え、体育の時間を中心に取り組みました。当日はあいにくの雨模様。開会式を皮切りに本校自慢の広い体育館で天候の状況を見ながら進めました。それぞれの発達段階や障害の状態に応じて、一人一人が持てる力を発揮して取り組んでいました。残念ながら、高等部のリレーに関しては生徒全員が懸命に走り、あまりにも速いため、安全に配慮し、実施を断念しました。リハーサルでの全員が懸命に走る姿は圧巻で感激し、本当は全ての方々にも見ていただきたいかったです。それだけが心残りでした。最後の中学部・高等部の『みらい ダイナミック エイサー!』は、天候も一時的に回復し、運動場で実施することができました。体育館から運動場への移動となり保護者の皆様には御負担をおかけしましたが、演舞終了後は、大きな拍手が鳴りやみませんでした。生徒たちの満足した表情が印象的でした。

御覧いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。開校から、コロナの影響や駐車場の確保が難しい状況等がありましたので、全体での行事の実施が難しい状況でした。児童生徒によっては、前籍校でも体験したことがない体育祭。不安も調整もたくさんありました。しかし、今回、地域の方々の御厚意で駐車場を貸していただき、応援もしていただきながらの開催となりました。保護者をはじめ、地域の皆様の御協力に感謝申し上げます。

生きる力につながる学校教育活動をめざして

本校は、毎時間の教科等の学びを行事などでつなげ、学校生活だけではなく、日常生活の中で生かせるような「生きる力」の育成を目指しています。

今回実施した体育祭をはじめ多くの行事は、これまで授業で学んだことの発表の機会であることや児童生徒間の交流、集団への参加、役割を果たすなど、児童生徒が成長する機会として考えています。一人一人成長の様子やスピードは違います。取り組み始めから当日、終了後の振り返りまで、学びと成長は続きます。

体育祭の実施を通して、児童生徒のたくさんの成長を見ることができました。

自閉症のある児童生徒の中には人が多いことや音にも敏感、可能な限りいつも通りの日課でないことの受け容れが難しくて怒って泣いてしまう子供もいます。しかし、ある小学部低学年の児童のお母さんが「こども園の時は、集団の中にいることができずにそこから飛び出そうとしていましたが、今回はみんなの中にいることができた。」話していました。日頃全く練習に参加できていなかったのに最後までエイサーに参加していた。

逆に集団の中に閉会式手前まで参加できていたが、エイサーは外で再び体育館で閉会式をした

ため、泣いて怒ってしまった。ギリギリまでよく頑張っていたと思います。そのお子さんが泣いて怒ってしまったのは、急な予定変更があったことについて納得できなかったこともあったと思います。これは、私たちがその配慮に欠けていました。

また、昨年度のみらい祭り（学習発表会）の際には、保護者を見つけて演技よりも保護者に向かっていく児童が多く、低学年にはいましたが、その児童たちが、最後まで踊って走る様子が見られ、成長を感じました。

みらいエイサーに懸命に取り組み、その後の学校生活に積極的に参加したり、おもいを伝えることができるようになったりした高等部の生徒もいました。

本校では教科の学びの充実に加え、行事や校外学習などの体験の充実にも力を入れているところです。一人一人の成長を一瞬で評価するのではなく、取り組んできた過程を大切にしながら教育活動の充実に努めていきたいと考えています。



みらいカフェ プレオープン

て、カフェみらいがプレオープン

いカフェは、高等部の生徒の絵が飾られ、コースターはチャレンジ班が作製したものを使用していました。クリスマス前ということで、クリスマスの飾りつけもされ、別の職業班の生徒ですが、入口に手作りの電飾をつくってくれる生徒もいました。グリーン班の皆さんは、多肉植物や野菜の販売ブースも設置し



12月6日、
13日 国道側の人道橋を開け
しました。みら



ていました。

また、オフィスサービス班は、人道橋入口でのぼりを立てて、案内してくれていました。

12月6日は、喫茶サービス班の保護者、13日には、学校評議員の皆さんに日頃学んでいるサービスの提供を行いました。みらいカフェでは、お菓子の製造（今回はチーズケーキ、キャロットケーキ、スノーボール）を行い、開店時にはその3つを盛りつけコーヒーとセットで販売していました。保護者や学校評議員の皆さんからは、「本当のカフェみたい」「いい空間」「お菓子がおいしい」というような声をいただきました。実際サービスした生徒たちは、丁寧な対応をして、お客様を待たせたときに「たいへん長らくお待たせしました」など、落ち着いて対応していました。緊張しながらも、お客様が喜ぶ姿を見て、本人たちも嬉しそうでした。

人道橋向かいの店舗の方が、「何時までやっていますか」というお尋ねがあり、今後のオープン時にいらしていただけるようなお話もありました。2月以降に、校内保護者、地域向けにオープンを目指しています。詳細が決まりましたら、お知らせします。

広がる社会貢献活動とのコラボ連携

Ⅰ 富国生命 スマイルコンサート

12月5日 富国生命の社会貢献活動でスマイルコンサートのお誘いがあり、弦楽四重奏（バイオリン2名 ヴイオラ 1名 チェロ1名）4名の演奏家が来校し、鑑賞会を開催することができました。静かな雰囲気スタートしました。クラシックを聴く機会は、中々ないのですが、児童生

徒全員参加し、穏やかな表情で参加していました。途中、弦楽四重奏で本校の校歌を演奏していただき、効果に合わせて児童生徒がその演奏に合わせて歌う様子は、素敵でした。演奏家の皆さんも「とても素晴らしかった」「よかった、いいですね」と話されていました。演奏家をはじめ富国生命の事業に感謝です。

2 エプソン ゆめ水族園

12月13日はセイコーエプソンの社会貢献活動の「ゆめ水族園」が本校体育館で開催されました。本校体育館はかなり広いのですが、そこを暗くして、たくさんのプロジェクターを持ち込んでの準備。1日目の大型コンテナに積まれた機材搬入に始まり、設置、投影だけではなく、説明会や学校で取り組むためのセミナーの開催などエプソン社員の皆さんもボランティアで参加して総勢30人に近くの皆さんにかかわっていただきました。12月13日当日は、児童生徒、職員、保護者、近隣の特別支援学校や特別支援学級の生徒、沖縄協同病院の職員の皆さんなど日頃からお世話になっている方々、600名近くの参観がありました。ニュースや新聞でもその様子が取り上げられていました。終了した翌日に体育館を訪れた児童が「ないね」といい「またゆめ水族園をお願いします」といいに来ていました。見た後に詩を作成したり、感謝の気持ちを表す掲示物を作成したりした学年もありました。見るそして、おもいを伝える取組となりました。

ゆめ水族園とつながった取組として、今回映像の撮影に協力した「美ら海水族館」も本校に来ていただき出張缶バッジ製作体験ブースを設置していただきました。

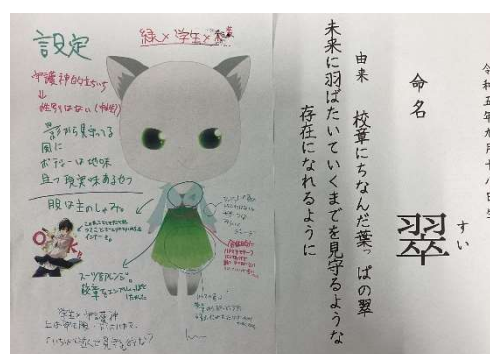
さらに、本校PTAが「みらい竜宮城」を1階に設置していただき、児童生徒も楽しみながら、ゆめ水族園の学習に取り組むことができました。参加いただき、御協力いただきました皆様に感謝いたします。



キャラクターの提案がありました

本校学校だよりのキャラクターが欲しいと昨年度から思っていたのですが、絵を描くことが好きだという高等部の生徒に声をかけたところ、素敵なキャラクターの提案がありました。

2学期はじめに、作成して校長室に持参してくれました。名前は「翠（すい）」と名付けてくれました。学校のイメージにぴったりだと思っています。おもいをもち、伝えられる。感動・感激です。本校見守りキャラクター「翠（すい）」をよろしくお願いします。



編集後記：令和5年度第2号がようやく完成しました。学校の様子のお知らせが滞ってしまいました。すみません。コロナ5類移行後、社会活動、学校教育活動も徐々に動き始めています。保護者の皆様の御協力、そして地域の皆さんなどの協力をいただきながら、教育活動が進められていることに感謝いたします。その御協力は児童生徒の成長につながっています。3学期もこれまでの積み上げを基に、1日1日を大切に取組んでいきたいと思っています。良いお年をお迎えください。